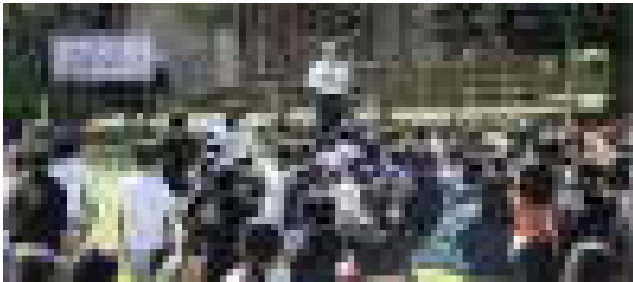
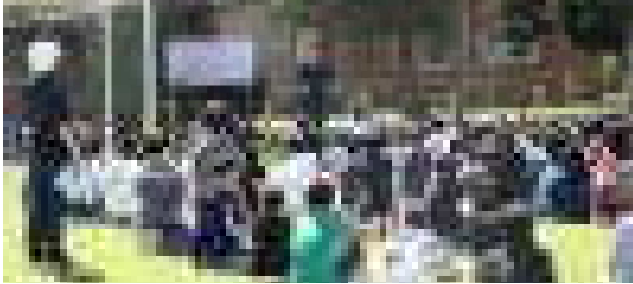


避難訓練を9月1日(金)に実施しました。避難の仕方が少しずつ身に付いてきています。さんは、今から100年前の関東大震災での経験を後世に伝えるために手記を



残しました。この手記をもとに、次のように話をしました。

関東大震災を経験したさんは、地震発生時の様子を次のように話しています。ちょうど昼ご飯を食べようとお箸を手に持った時、大きな揺れが突然襲ってきました。外へ逃げようとするけれども、立つことすらできません。戸が外れ、家がきしみ、棚のものは落ち、壁が落ち、瓦が落ちてきます。家の外からは、地鳴りとともに悲鳴が聞こえてきます。

揺れは何度も起こり、昼時だったので、火災が発生。この日は台風が接近しており、強風にあおられ、火災はすごい速さで広がっていきました。火から逃れるために逃げるのですが、道は人で埋め尽くされ、火災旋風で多くの方が亡くなりました。さんは4歳と1歳の子供と奇跡的に逃げ切ります。

さん親子が生き延びることができたのは、同じ災害にあった人達が、けがの手当てをしたり、炊き出しをして食べ物を与えたりして、支え合ったからですと、話しています。

さんの手記から学べるのが3つあります。

- ①災害に遭った一人一人が救援や救護の役割を果たすこと (助け合うこと)
- ②自分の命は自分で守ること
- ③災害は、人々の想像を超えた被害が発生することを覚悟し、常に備えをしておくこと (常に備えをしておくこと)

災害は忘れたころにやってきます。今日、訓練したことが、いつ、どこにいてもできるように、しっかりと覚えておきましょう。

全校クイズスタンプラリーを9月7日(木)に実施しました。異学年のグループをつくり、仲間と協力して楽しく活動しました。全校のみんなが笑顔になりました。運営委員会のみなさん、企画・運営ありがとうございました。

